

# 第62回界面科学部会秋季セミナー

## 化粧品、医薬品、食品製剤の最前線

主 催：日本油化学会 界面科学部会

化粧品・トイレタリー、医薬、食品などの分野においては界面を制御した各種製剤が用いられています。これら製剤技術、物性評価、構造評価に関する最先端の研究に関して、各分野の権威の研究者に基礎から応用まで講演していただきます。また、講演者、参加者同士で交流を深め、研究者・技術者ネットワークをひろげてみませんか。

協 賛：現在申請中

期 間：平成27年11月5日(木)～6日(金)

会 場：IPC 生産性国際交流センター (神奈川県三浦郡葉山町湘南国際村)

<http://www.js-ipc.gr.jp/>

〔交通〕 JR 逗子駅東口 (①番のりば) もしくは京浜急行新逗子駅南口より  
京浜急行バス 逗 16・26 系統「湘南国際村センター」行  
終点「湘南国際村センター前」下車 徒歩3分(所要時間 約25分・片道350円)  
(11:00 もしくは 12:02 出発のバスをご利用ください。)  
JR 逗子駅よりタクシーの利用で約13分

参 加 費： 日本油化学会個人正会員 (会員番号をお持ちの方) 30,000 円  
日本油化学会法人会員会社勤務者・協賛学協会個人会員 35,000 円  
学 生 15,000 円  
非 会 員 45,000 円  
(参加費には テキスト代、宿泊費、食事代、消費税を含みます。なお、既納会費は返却できませんのでご承知おき下さい。)

申込方法： 所要事項〔氏名、性別、年齢、勤務先、連絡先(Tel、Fax、e-mail 以下)、参加費〕を記入した E-mail を下記へ送り、参加費をご送金ください。振込手数料はご負担願います。領収書はセミナー当日受付にてお渡しします。宛名は「会社名+氏名」といたしますが、特に御希望がございましたら、お知らせください。参加申込書を受け付けましたら折り返し参加のご案内を E-mail でお送りいたしますのでご確認ください。

問い合わせ先(申込先)： 横浜国立大学大学院環境情報研究院 荒牧賢治  
E-mail: [aramakik@ynu.ac.jp](mailto:aramakik@ynu.ac.jp) 電話 & FAX: 045-339-4300

送金先： 横浜銀行 和田町支店 普通 1440021

日本油化学会界面科学部会関東支部 (ニホンユカガクカイカイメンカガクブカイカントウシブ)

11月6日(金)

5. ソフトマターのハンドリングと降伏挙動

9:00-10:00

長岡科学技術大学 技学研究院 機械創造工学専攻 高橋 勉 氏

多くのソフトマターはベタベタしてハンドリング困難なものが多い。搬送に際してもパイプでは粘度が高くて流量を大きくすることは難しく、ベルトコンベアでは張り付いて分離できない。その1つの解決策として開発した「スイットル」はソフトマターの付着力と降伏特性を利用し、簡単な機構で試料の形を崩さずに床から引き剥がして、そのままの形で別の場所に貼り付けることができる。実空間でCut&Pasteを実現するメカニズムと将来展望について解説する。

6. 身体洗浄剤の泡評価：泡レオロジーの時間依存測定からの考察

10:20-11:05

太陽化学株式会社 小山 匡子 氏

これまで泡の研究では、バルクの泡の性質をレオロジーで評価する試みはあったものの時間とともに変化する泡の過渡的特性に着目した報告は少なかった。近年、消費者が直接泡を手にとってそのまま使用する身体洗浄剤も多く見受けられるようになり、新しい泡評価法の検討が必要と考えていた。我々は泡の寿命を動的粘弾性測定から時間変化によって評価した。その評価方法を市販洗顔料の泡について考察した事例を交えて紹介する。

7. 固形石けん製剤技術と脂肪酸カルシウム塩の応用に関する研究

11:10-11:55

花王株式会社 森川 利哉 氏

起源前から“石けん”は存在していたが、その処方技術と製造技術は時代と共に進化している。本発表では、固形石鹸内部に球形気泡を含有させることで、ふやけやすい石鹸の物性をコントロールする技術を紹介するとともに、洗浄後の肌に残りさっぱりした感触を付与する脂肪酸カルシウム塩の殺菌性についての検討を報告する。